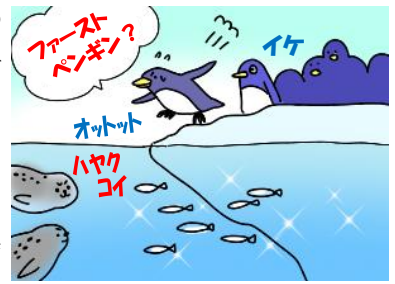


## 「タカテツのひとり語り」

## — 「ファーストペンギン」と「セカンドペンギン」 —

今回のタイトルのことを御存知でしょうか。随分前のNHK朝ドラの「あさが来た」(三井家の娘、「大同生命」創業者 広岡浅子女史の話)で取り上げられたとのことですが…私も見ていた筈ですが“記憶なし”です(汗)。ともあれペンギンには特にリーダーはいないようですが、「集団行動」をとることで知られ、“ペンギンパレード”なども有名ですよね。



実は危険が迫った時は、“最初に気づいた一羽”の後に続いて難を逃れるとのこと。エサの魚を獲る時も同じで、群れの中で誰か一羽が海に飛び込まない限り氷上に止まるのだそうです。

つまり、“最初の一羽”に従うのが彼等の「集団行動」の特徴であり、この一羽こそファーストペンギンなのです。もしかすると、天敵のシャチやオットセイが待ち構えているかも知れず、この場合犠牲にもなるかも…二羽目からは安全になりますね(涙)。反面、一番最初に腹一杯食べることもできるかも知れません。

米国では、“リスクを恐れず初めてのことに挑戦するベンチャー精神の持ち主”を、敬意を込めてファーストペンギンというそうです。中には、ただ後ろから押されて海に落ちるファーストペンギンもいるらしいですが(笑)。

一方、クリエイティブディレクターの水野学氏、著述家の山口周氏は対話で、今の日本の企業にはセカンドペンギンが必要だと言っています。なぜならファーストペンギンは、フォロワーがいて初めてリーダーとなり、アイデアだけでは実現せず、有能なセカンドペンギンあってこそそのファーストペンギンなのだ。

“創造のファースト、実務のセカンド”の組み合わせが必要ということかと(納得)。

## ROKENワークス・アカデミーだより

## — トップセミナー「哲塾」(全10回)終わる —



7月8日にトップセミナー「哲塾」は終了、7月19日の海老原嗣生顧問の特別セミナーを残すのみとなりました。7ヶ月にわたる長丁場で塾生は、体はへろへろ、頭はパンパン、でも達成感があるとっておりました(笑)。

9回目は「評価」について、10回目は「賃金」についての研修でした。「評価」の真の目的は昇給・賞与・処遇ではなく「育成」です。「目標」を提示し、合意して自己決定させ、その「進化」を「検証」し、フィードバックし、徹底させるためなのです。

加えて「コンピテンシー面談評価」についての技法を学びました。進化し、成果を上げるについては個人差が生じます。これは前月号で述べた「仕事力の公式」によって明らかです。この個人差は貢献度の差ということになり、ここに配分の差がでてきます。この配分の差をつける「格付け」(Rating)が評価の目的と誤解されてきました。会社には様々な職種があり、その重要性も会社によって異なります。つまり、「全体格付け」はそもそも不能であり、この格付けはFixed Mindsetに陥り、モラルダウンするというのが心理学の世界常識であり、米国ではこの格付け廃止をする企業が増えているとのこと。しかし、同じ職種等では前述の目標レベル×達成度での貢献度を表す9BOX評価方法について話しましたが、納得いったかどうか(笑)。

さて、前回レジェンド講師が上杉コーポレーションの内藤文徳会長であるとの前説をしました。内藤さんは当初観光については素人であり、ましてや当時観光の位置づけもなく私の知る限りでも本当に大変で、500万円借りるのに四苦八苦、小泉政権時代に観光行政によりやく陽が当たり、何とかなってきた等の苦労話に聴き入りました。最後の一言“山よりでっかい熊は出ない”、いつもの内藤節でした(一同爆笑)。

## ROKEN提供システムズ

## — 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

### ■ ROKEN アウトソース・センター

- ・ 電子申請システム(義務化近し)
- ・ 給与計算(明細書電子配信)
- ・ 出退勤指紋(カード)認証システム

### ■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

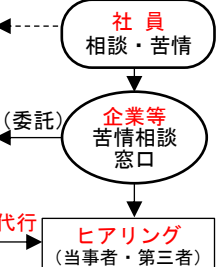
### ■ ROKENワークス・アカデミー

- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



### ■ ROKEN ハラスメント セキュリティズ

- ①相談・指導 ②研修  
弁護士・社会保険労務士  
産業カウンセラー



### ■ 協同組合 労研センター

TEL: 23-7233 FAX: 23-7236  
E-Mail: [center@roken.jp](mailto:center@roken.jp)

お気軽にお問い合わせ下さい。

### ■ 株式会社 労研

TEL: 24-8060 FAX: 24-8069  
E-Mail: [academy@roken.jp](mailto:academy@roken.jp)

roken 検索